

接遇マナー研修

(株)話し方教育センターより講師をお招きし、3月2日(木)、向日市福祉会館で接遇マナー研修を開催しました。会員50名及び事務局職員4名が受講し、接遇マナーの大切さを再認識しました。

接遇マナー研修に参加して

寺戸町 瀧田 和己



研修では、受講者が、グループ別にシルバー会員と利用者役に分かれ、接遇対応の実践トレーニングを行いました。

終了後、受講者から「言葉遣い、マナーを見つめ直せた」「常識をわかっていたつもり、実行していたつもり。つもりだったことに反省」「今後、人との接し方に役立てていきたい」「内容がわかりやすく、気づきがありました」などの感想がありました。



接遇の考え方や心がまえ、基本的な対応を学びました

研修に参加して感心した事は、沢山の人の(50〜60人位)が参加されていた事と、研修の内容がかなりしっかりしていたことです。説明が簡単・明確で非常に解りやすく、その上かなり高度であり、また実践トレーニングもあり充実したものでした。

接遇(周囲との接し方)の4条件は、正しく・速く・いい・親切であり、相手に好感満足感を与える事であるとのことでした。自分を考えると、誠意を持って親切で頑張りたいと思っています。正しく速くは努力目標です。

実践トレーニング



グループに分かれて接遇対応の実践トレーニングを行う参加者

事、私もまだまだと思ってしまいました。

シルバーにお世話になって1年目ですが、職場は複数人のローテーションであり、いつも1人でやっており、ちよびり寂しい感じでした。もちろん職場の人とは「誠意と親切」で仲良くやっています。

よく解っていないのかもしれませんが、今後の希望はシルバー全体の簡単な懇親会とかで、他のシルバーの人と接する機会があればと思います。

接遇マナー研修を振り返って

優れた接遇の4つの条件

- ① 正しく
- ② 早く
- ③ 丁寧
- ④ 親切に

人間関係の基盤「あいさつ」「声かけ」

- Ⓐ たたかい関心
- Ⓛ つでもイキキ
- Ⓒ きに自分から
- Ⓚ きにつなげる

あいさつのポイント

- ① 目線(少し先に)
- ② 止める(腰を曲げたところで)
- ③ 分ける(言葉と動作を)

家事援助サービス講習会



介護職員が介助したベッドを使った楽な体の起こし方など

6月12日、14日、16日までの4日間、向日市民体育館において株式会社ニチイ学館より、講師として坂本淑子様を招いて家事援助サービス講習会が開催され、会員を含め20名が受講しました。

この講習会は、京都府シルバー人材センター

連合会と当センターが共同で、昨年の「介護補助スタッフ講習会」に続き、今年度は「家事援助サービス講習会」として開催したものです。

初日は、向日市社会福祉協議会の石松友樹障がい者地域生活支援センター長を招き、「認知症サポーター養成講習会」を実施しました。

2日目以降は、家事援助に関する心構え、サービスに関する留意事項等の学習、また、実技として、介護用ベッド、車いす、杖などを使用し、利用者の対場を理解する中で、身体介助、食事介助等の実習を行いました。

家事援助サービス講習を受講して

物集女町 中村敏廣



シルバー人材センター主催「家事

援助サービス」の広告案内を家人が見つつけて、いきなり私に言うのである。「暇を持て余している。あなたに丁度良いから受講したら」と勧めてきた。それなら

と重い腰を上げたものの、性来の勉強嫌いが四日間の詰め込み教育に耐えられるだろうか不安だらけ。「嫌やなー」と思いながら初日を迎えた。そして20名の受講者が紹介され、皆様の熱心な雰囲気がいっぱいと教室を包み進められる。

1日目…開講式、オリエンテーション、認知症の理解・講習

特に認知症は誰にも起こり得る脳の病気であることとを教えられた。

私のように確実に認知症予備軍は今のくらいの確率で統計上示されているのか、非常に興味があるところだ。尋ねてみると、なんと4人に1人が認知症であるとのこと。

ただ、教えられた今でも受け入れたいのが正直なところである。なぜなら今日本の平均家族4人とするならば、数の上からみると全世帯で1人の認知症と共に生活していることになる。そういう意味でもサポーター養成講習は大事な取り組みであることを再認識した。

2日目…スタッフとしての心構え、サービス概要と留意事項

3日目…サービス提供上の知識・技術・ポイントと実技

4日目…住宅及び福祉用具の知識と実技、閉講式

上述2日目以降は講義と実技の併用である。

机上での学習を実技に置き換えていたケーススタディは、現実を想定して相互に役柄を演じるロールプレイング。役者の演技もさることながら、健常者の

普通の生活の中では身障者の目線になかなか気付かないことの多いことか…

当講座の基本的な教えは、認知症や身障者についての「正しい知識」を知り、そして「他人事」ではない環境を理解することである。

現在社会では高齢化が更に進み、ホームヘルパーが不足している中でサポーターキャラバンの躍進が急がれるところである。そう言いながら、受講終了した私に今家事援助要請があれば応える自信も勇気もない。詰まるところまだまだ体験学習(実習)を経てでないと現場に赴くのは不安である。それをただ単にミスマッチと言えばそれまでだろうが、正直ハードルは高いと感じた。

最後に講習に際して非常にわかりやすく指導いただいた、坂本講師(ニチイ学館)に感謝申し上げます。

家事援助サービス講習を受講して

鶏冠井町 栗林みえ



今回の講習を受講しようと思った

のは今からの仕事の選択肢として家事援助サービスに興味があったということ、認知症サポーターの養成講座も兼ねてのことでした。

講習の初日、向日市体育館の会議室で少し緊張しながら受付をしてから、あつという間の4日間でした。

初日は認知症の方への対応の心得を具体的に動画で見て、受講者の話し合いで確認することから始まりました。



介護職員が介助した車いすを使った介助方法に取り組む参加者の皆さん

だんだん20人のメンバーとも顔見知りになり、昼休みにはお弁当を食べながらお互い情報交換をする楽しみもありました。

講習では座学だけでなく、実際に実技講習でベッドからの移乗や車いすに乗ったり押ししたり、目の高さの違いと大げさでなく見る世界が変わることも実感できました。視覚障害の方に対する支援や障害を体験してみたいということも初めてでした。

講師の先生はプロとして経験豊富で、教科書そのまま教えるだけでなく実体験に基づいたお話が多く、これから自分にできるか不安な私たちに様々な例でわかりやすく教えてくださいました。うまくいった支援も失敗した例もたくさんあげてくださり壁が少し薄くなったように感じました。

最後に終了証書を受け取った時には、これから自分も家事援助サービスの仕事ができたらいいなと初日に比べ強く思いました。感謝です。

生活支援サービス事業を開始

平成29年4月から、向日市と「地域支え合いヘルプサービス事業」の業務委託契約を締結しました。

今後、高齢者等の居宅において掃除、洗濯、ゴミ出しなどの日常生活の支援を提供することとなり、当センターも福祉の担い手の一つとして期待されています。

会員の皆様のご協力をお願いいたします。



上植野町 谷 英夫

交通安全講習会

3月17日(金)向日市福祉会館において、向日町警察署より大西巡査部長を迎えて交通安全講習会を開催し、会員32名が受講しました。

会員の皆様は、就業場所まで自転車移動することが多く、そのうちの70%の会員が移動中に危ないと感じたことがあると答えています。

今回の講習会では、交通安全についての講義をはじめ、DVD鑑賞や反射神経テストを通じて、交通事故から自分を守るために注意すべきことを再認識しました。

当センターでは、今後も会員の皆様の交通安全意識の高揚を図り、交通安全の未然防止に努めてまいります。



ゲーム感覚で楽しく交通マナーを再認識しました

交通安全講習会に参加して

寺戸町 朝岡 博則

3月17日(金)向日市福祉会館にて交通安全講習会を受講しました。

高齢者向け交通安全DVD鑑賞と機械による反射神経テストを体験させていただきました。多くの方が日頃から交通安全に対して意識している訳ですが、改めて受講すると、こんなはずではなかった、自分は大丈夫だと思っていました。テストを受け年齢以上の結果となり俊敏性が衰え始める年代になりましたと出ました。

交通事故から身を守る為に十分注意しなければと思っています。

交通安全ルールを守ることが安全の基本です。事故は、いつ起きるかわかりません。

加害者にも被害者にもならない様になければと思っています。



自分の反射神経年齢を測定する参加者

会員のひろば

シルバーと私

鶏冠井町 中西 翠



私は平成11年10月にシルバー人材センターに入会させていただきました。大阪から向日市に引越して来て、仕事も無く悩んでいる時、近くの公園で草取りをしている方にお話を伺い、翌日事務所を訪れ入会させていただきました。

二日目に早々と仕事をいただき夢のようにでした。仕事は自転車の巡回でした。歩くコースは地図を見ながら歩きました。また、会員さんが親切に教えてくれ、だんだんと慣れてきました。

それからは草取りや家庭の清掃と色々な仕事をいただき、草取りなど場所の分からない所は送っていただいたこともありました。

どんな仕事でも優しく教えてくれた会員さんに頭がさがり、一人、また二人と挨拶ができる方増えてきたことがとても嬉しく思いました。

そして入会した時から、事務所の清掃をさせていただいております。年齢と共に背中も丸くなり皆様にご迷惑ではないかと思いつつも、感謝をしつつ続けさせていただいております。

また、思いもかけず、平成27年に表彰状をいただきました。身に余る思いでいつも眺めては二人で笑い、嬉しい限りです。そしていつも手を合わせ、頭を下げしてお礼の言葉を言います。

84歳を迎えた今、過ぎ去った日々を思い返せば懐かしさに涙が出ることもあります。新しい

人を迎える嬉しさが、また悲しい別れもあります。

でも、私は今、元気で働かせていただいている事が何よりの宝です。

シルバーさんに入会をさせていただいたことで、長年元気で働かせていただき、良い一日、嬉しい毎日が送れることに深く感謝しています。

この先、いつまで働かせていただけるかわかりませんが、一回、一回の仕事を大切に、心を込めてさせていただこうと思っています。

シルバーは私の生きがいです。

サントリービール工場 見学に行きました

寺戸町 梅村 秀樹

6月3日(土曜日)晴天

イオンOB会のメンバー9名で工場見学と試飲を楽しみに阪急東向日駅に8:30に集合しました。オハヨウ良い天気で良かったあと挨拶して、さあ〜元気で歩きましょう。

西国街道をJR長岡京駅に向かう当日は少し風が吹いて快適なウォーキング日和でした。

日頃は車かバイクで通り過ぎる街道ですが、歩いて左右の景色や家並みを観ると有に100年は過ぎていさるう家屋が、また最近建てられたマンションがやたらと目に入る。時代の流れは急速に進んでいるのが分かる。商店街ではシャッターの降りたままの店があり寂しい気がします。物集女街道の阪急電車ガード下を渡り進むと二番

西国街道らしい場所に来た。石畳のある道の左右に日本家屋の立派な邸宅があり落ち着いた雰囲気がある、いつまでも残してほしい風景です。

歩いて約30分なのでセブイレブンで小休憩する。トイレに行く人、水分補給の人。10分程で歩きだし一文橋に着く(昔一文払ってこの橋を渡つたらしい)。高い渡し料やなあと話しながら歩く。長岡京市に入り、喋りながら歩く早いもので1時間以内で長岡京駅に到着しました。駅前からはシャトルバスが迎えに来てビール工場まで送ってくれます。

受付を済ませて案内嬢が工場内のビール作りの工程を詳しく説明してくれます。土曜日の一部機械は止まっていますが発酵中の釜を触ってびっくり。内部は100℃にもなるらしい。また、瓶詰め機のスピードには驚きました。作業場にはほとんど人影はなく、機械が勝手に仕事している感じがしました。

作業工程の説明が終わり、いよいよ試飲会場へシャトルバスで移動です。

できたてのビール、しかもPREMIUMモルツです。日頃家では飲むことはないのも最高に美味しい。他にも2種類のビールもしっかり3杯飲みました。

歩いた後のビール最高です。

少し酔ったところで案内嬢と「セーの、サン」でパチリ。楽しい1日でした。

次回はウイスキー工場でも行きませんか。



事務局だより

新しく仲間入りしたみなさん

(平成29年1月～7月入会順)

物集女

寺戸
川東山橋
辺出田本
一均清治
三均清治

森本 大井 中井 三宅伊佐夫 柳本サヨ子 吉持弘 芦田繁 清水裕一 岩根洋子 見神悦子 古市秀男 井出恭代 川東山橋 物集女

退会されたみなさん

(平成29年1月～7月退会順)

物集女

寺戸

前田昌基 山下末吉 藤井慶哲 畑西陸子 小西陸子 栗林勝 山口ハツエ 鹿島政司 足立登 友次静雄 林達也 木下康弘 長谷川光 田中邦男 浅田得雄 井尻真一 長谷川宏 小前田輝男 森本知二 安藤由子 石橋町子 伊藤悟雄 月間明雄 河村嘉美 青野美和 大久保利男

おくやみ

寺戸小畑惣一郎様
上植野戸田俊男様
謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

森本 南村 松山下 宮本 永福 北出 中川 中川 房谷 前田 小松
村山 義嘉 惠一 惠美 均勝 雄春
品川 正智 敏和 子博 代子
草野美智江
庭井しま
木口隆子
片山豊子
赤田 脇 中村 節子
向日町

履行確認書は速やかに提出箱へ

業務別に提出していただくように、引き出し付の箱を用意しております。

確認書提出の際には、記入間違いや漏れのないようにしてください。

就業後は速やかに提出いただきますよう、ご協力をお願いします。

配分金の改定について

(平成29年4月から)

昨年10月から、京都府の最低賃金が807円から831円に改定されました。

これを受け、当センターにおきましても京都府の最低賃金を考慮し、また、発注者様のご理解を得る中で、会員の皆様への配分金最低単価を平成29年4月から830円(現行810円)に増額いたしました。

電話の際は、
「会員の〇〇〇〇〇〇です」と
フルネームで

センターには発注者や会員のみなさんから毎日たくさん電話がかかってきます。同姓の方もたくさんおられるので、「〇〇〇〇です」とだけ名乗ってもらっても、どこのどなたなのか判別できず、事務の取り違いに繋がることもあります。「会員の〇〇〇〇〇〇です」とフルネームで伝えてください。

今後の行事予定

◆シルバーの日 ボランティア清掃
平成29年11月予定

◆会員親睦研修旅行
平成29年11月予定

会員募集

地域で共に働く仲間を募集しています。
会員の皆さまのご近所やお知り合いの方にぜひ声をかけていただき、誘ってみてください。

対象となる方

向日市在住の60歳以上で健康・働く意欲ある方

※入会申込みは、随時受け付けしています。
詳しくはセンターまでお問い合わせください。

ホームページを
リニューアル

スマホにも
対応!

4月より、当センターのホームページをリニューアルいたしました。

新しいホームページは、スマートフォンにも対応するなど、機能・情報の充実を図りました。

また、会員のページを新設し、タイムリーな情報を提供してまいります。

ぜひ、一度ご覧いただき、ご活用ください。

ホームページのURLは、 muko-sjc.com/



最新の情報をお届けします

あしがき

暑中お見舞い申し上げます。会員の皆様には、毎日暑いなか就業お疲れ様です。この時期、体調管理には十分気をつけて、無理のないようお仕事していただきますようよろしくお願いいたします。

さて、今年の総会は、5月22日に桂川イオンホールで、77名の会員の方にご出席いただき、盛況のうちに無事終えることができました。ご協力ありがとうございました。

また、総会では、14名の会員の方が表彰を受けられました。おめでとうございます。

長年、シルバーで活躍され、これまでシルバーを支えてこられたことに敬意を表するとともにこれからも元気で活躍いただき、シルバーの発展にお力添えをしていただけたらと願っています。私たち事務局も一緒にがんばっていききたいと思っております。よろしく申し上げます。

事務局長	小 林 賢 次
次 長	柴 崎 重 信
業務係長	大 嶋 英 夫
業務係	中 村 幹 雄
業務係	片 岡 法 康
庶務係	山 田 祐 史
	上 田 奈 津 子